



# ヤマザクラ

2021年(令和3年)1月20日(水)発行

## 新年にあたって

理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染により会員のみなさんも日常の生活に大きな影響があったことと思いますが、感染予防対策には引き続き十分心がけていただきたいと思います。

本会の活動拠点である湯の岳山荘は4月6日から5月20日まで休荘となりましたが、この長期の休みを利用し懸案だった大規模修理を行いました。具体的には、畳の表替えと襖の張り替え、風呂場の塗装と脱衣所の壁紙の張り替え等です。協力してくれた会員の皆さんに感謝いたします。

また長年の懸案であった漏水問題についても新たに水道管を敷設したことにより解決しましたが、貴重な沢水ですので節水には今後も心がけていきたいと思ひます。

当会の活動については、感染防止対策を講じて、ほぼ予定どおり実施してきました。

「ろうきん森の学校」は2期目(2015～2024年)の7年目となり、2期目の目的である「森づくり」から始めて「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させることを目指しています。当会も、この目的達成のため会員の皆さんとともに活動してまいります。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思ひます。

### 【ろうきん森の学校参加者】

新型コロナの影響により4月は12名と大幅に減少しましたが、年間では昨年並みの参加者でした。

### 【2月・8月・10月】国際ワークキャンプの支援を3回実施しました。

- ・1回目(2/25～3/5)参加者8名(日本3名、ロシア・カンボジア・ベトナム・インドネシア・タイ各1名)
- ・2回目(8/26～9/4)参加者6名(全員日本人)※コロナの影響で外国人入国なし
- ・3回目(10/12～12/25)参加者2名(全員日本人)※初めての中長期受入れ

### 【3月・4月】予定した自然エネルギー学習施設の整備を完了しました。

- ・3月：石窯製作
- ・4月：自然エネルギー学習施設の看板製作

### 【5月】久しぶりに戸渡遊学の森と山小屋の整備を行いました。

### 【12月6日】育樹祭を開催、今年で栗園跡地での開催6年目、薪炭林の森林にすべくクヌギを30本植樹しました。

### 【海岸林整備】

新型コロナの影響により参加ボランティアが大幅に減少しました。

昨年の「ろうきん森の学校」中間会議は福島地区が開催予定でしたが、新型コロナの影響でオンライン会議となりました。新型コロナの終息後には福島地区での開催になるものと思います。

自然学校開設に向け3年計画で実施中ですが、1年目はハード面の「子どもの遊び場」についてはほぼ完成しました。施設はツリーハウス・空中回廊・木登り階段・木のトンネル・ハンモックづくり等です。ソフト面では植生調査等を実施しながらプログラムづくりを行っており2022年度のスタートに向けて取り組んでおります。

また、次代を担う子どもたちがすこやかに育つよう「森と自然を活用した保育・幼児教育」の取り組みも検討したいと考えています。

森林整備班、農業班、木工班、プログラム班がある中、森林整備班の人数が年々減少傾向にあります。関心のある方の参加を希望しております。

今年も、「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いします。

## 【森林整備班の活動報告】

### 1 定例活動

今期は、12月6日の育樹祭に向けて栗園跡地の再生整備作業が中心となりました。

(R2.10.1~12.28)

月 / 日	曜日	天候	作業事項	参加者(名)
10/3	土	晴	栗園跡地下刈り	4
7	水	晴曇	山荘周辺下刈り	2
14	水	曇	栗園跡地下刈り	5
17	土	小雨	ビニールハウス内部整理	4
21	水	晴	栗園跡地下刈り	3
28	水	晴	〃	5
11/4	水	晴	〃	4
7	土	晴	ドラム缶窯入れ・枯損木除伐	6
11	水	晴	栗園跡地下刈り	4
18	水	晴	〃	4
21	土	晴	バンガロー周辺下刈り	5
25	水	小雨	〃	6
12/2	水	曇	栗園跡地育樹祭準備	2
5	土	小雨	〃	5
9	水	曇晴	山荘溜池廻り下刈り	6
16	水	晴	栗園跡地不用木除伐	3
19	土	晴	山荘枯損木除伐	5
23	水	晴	海岸林整備	2
計				75

### 2 定例整備以外の活動

- (1) 10/12~12/25の間、国際ワークキャンプ参加者2名に対して森林整備を中心とした指導を行いました。
- (2) ナラ枯れを含めた枯損木についてプロが伐採したものの伐木処理を前期に続いて行いました。

### 3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R2.10.1~12.28)

月/日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
10/19	月	草刈り、植樹	3	5	8
20	火	草刈り	3	0	3
27	火	草刈り、植樹	4	0	4
28	水	〃	4	0	4
11/9	月	〃	4	0	4
10	火	〃	4	0	4
28	土	〃	5	0	5
29	日	〃	2	0	2
12/5	土	〃	2	19	21
21	月	〃	2	0	2
22	火	〃	3	3	6
		計	36	27	63

(松崎記)

### 【農業班の活動報告】

今年の秋は、昨年度のような台風や豪雨がなくて比較的穏やかな天候に恵まれました。

一方では、新型コロナウイルス感染症の話題が連日報道されていますが、幸いに農作業のほうは予定通りに行うことができました。

#### 1. 森の学校（10月18日開催）でさつま芋の収穫体験

今年の5月に苗を植え付けたさつま芋（紅あずま）の収穫体験を行いました。



10/18 森の学校 芋ほり体験



収穫したさつま芋

参加者は、一般の人10人（内、子供2人）と会員4名で一列の畝を掘り上げて収穫しました。収穫した芋、各3kgを参加者に持ち帰っていただきました。

#### 2. 国際ワークキャンプのボランティア2名来場し、農作業を行う

10月19日～12月21日までの毎週月曜日、2名の若いボランティアが来場し、予定した通常の農作業を一緒に行いました。

エゴマやダイコン、大蕪などの収穫や、ソラマメの苗植え付け、畑の除草作業などを行いました。



12/21 山荘で落ち葉収集と



笠石の畑での落ち葉堆肥作り

なお、12月21日には山荘の作業道で落ち葉収集を行い、笠石畑で堆肥作りも行いました。

### 3. その他

- 1) 10/7、地主さん宅に収穫したさつま芋各3kg届けました。
- 2) 11/16、畑や農道を覆っている桑の木を伐採しました。
- 3) 11/28、山荘の池の水500Lを畑までタンクで2回運搬しました。
- 4) 12/7、ブルーベリーの選定と施肥や除草などを行いました。
- 5) 12/14、一年間熟成してきた落ち葉堆肥を畑に投入しました。

(太田記)

### 【木工班の活動報告】

今期は男子班女子班共に班として共通の作品作りはしませんでした。ただ、それぞれの会員が筆入れやロクロを使って湯呑を作ったりとそれぞれ自由に活動しました。

その作品の一部と作業の様子は次のとおりです。



(佐藤記)



## 【プログラム班の活動報告】

### 1 学校・幼稚園の支援活動

今期は10月に3回、11月に8回それに12月に3回合わせて14回の支援を行いました。  
その一覧は、次表のとおりです。

学校等における学習支援活動(10/1～12/28)

N o.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	10月1日(木)	中央台北小	4	総合学習	46	10
2	10月22日(木)	綴小	4・5・6	森林環境学習	27	10
3	10月28日(水)	綴小	1・2・3	森林環境学習	31	9
4	11月4日(水)	錦東小	3	総合学習	28	6
5	11月5日(木)	錦東小	1	生活科	23	7
6	11月11日(水)	江名小	3・4	森林環境学習	35	10
7	11月12日(木)	錦東小	1・園児	生活科	129	8
8	11月19日(木)	三和小	3・4	自然散策	36	9
9	11月20日(金)	江名小	1	生活科	17	6
10	11月25日(水)	藤原小	3	総合学習	24	8
11	11月26日(木)	平六小	3	総合学習	36	10
12	12月2日(水)	江名小	1	生活科	28	5
13	12月10日(木)	中央台北小	4	総合学習	46	13
14	12月16日(水)	常磐第一幼稚園	園児	木工クラフト	30	6
	計				536	117

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



## 2 その他の支援活動

市環境企画課主催自然探訪会支援 10月31日(土)

参加者 親子19名、市職員4名

平労金秋の自然体験活動支援 11月6日(金)

参加者 30名

クリナップ労組秋季もりの学校支援 11月14日(土)

参加者 親子12名

(佐藤記)

## 【ろうきん森の学校の実施報告】

### 1 令和2年10月18日(日) (天候・曇りのち晴れ)

#### (1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

#### (2) 参加者数 37名

#### (3) 実施結果

今回の自然観察会は「ドングリころころ」とのテーマで実施しました。山荘周辺のドングリの観察をする班と笠石の畑での観察をする班に分け、初めに勉強会をしてからは野外に出ました。

自然体験活動としては、笠石の畑で栽培したサツマイモを収穫しました。

木工工作では、ドングリを使った動物のおもちゃを作りました。

昼食はサツマイモご飯とサツマイモやマイタケの天ぷらそれにナメコ汁でした。



### 2 令和2年11月15日(日) (天候・晴)

#### (1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

#### (2) 参加者数 35名

#### (3) 実施結果

今回の自然観察会は「木の実・草の実を探そう」とのテーマで、木の実・草の実を探す班と、落葉のカレンダーを作るため落ち葉を探す班に分けて実施しました。

落ち葉を拾った班はその後落ち葉のカレンダー作りを行いました。

木工クラフトでは、メモ用紙立てを作りました。

昼食はカレーライスとキノコのみそ汁でした。



### 3 令和2年12月20日(日) (天候・晴)

#### (1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

#### (2) 参加者数 62名



### (3) 実施結果

今回の自然観察会は「落ち葉の森歩き」というテーマです。観察会は、クリスマスリースの材料集めをする親子班と大人班の2班で実施しました。親子班は観察会の後落ち葉のプールで宝探しもしました。自然体験活動ではそば打ちを体験しました。木工クラフトでは、クリスマスリースを作りました。昼食は、新そばと天ぷらそれにキノコの炊き込みご飯でした。



(佐藤記)

### 【広場にツリーハウス完成】

いわき市環境まちづくり担い手育成支援事業として本会の「自然学校の開設事業」が採択され、その第一年度として、フィールド整備、プログラム作りなどを行っております。

そのなかのフィールド整備については、山荘北側に子供達の遊び場などを整備しておりますが、自然観察を高いところから行うための拠点として山荘広場のケヤキの大木のところにツリーハウスを作りました。

会員のなかの建築の専門家の力をお借りして10月11日の測量からスタートし、11月13日の仕上げ作業までの約1か月間で完成させることができました。

安全第一を前提として有効に活用していきたいと思っております。



(松崎記)

## 【第6回育樹祭を開催】

12月6日（日）晴天のなか丸山公園の川向にある栗園跡地で育樹祭が開催されました。

この栗園跡地は、20数年前に廃園になり藪と化していましたが、当会が数年前から手入れをし、数年にわたりカエデなどを植樹してきました。

今年度もクヌギ30本、ヤマツツジ30本を植樹しました。会場に向かう途中では観察会も行われました。

参加者はボーイスカウト、いわき竹プロジェクト、岩出の郷里山クラブ等23名と当会会員17名合わせて40名でした。



（木田記）

## 【国際ワークキャンプ】

国際ワークキャンプについて、いままでは夏・冬の短期の受け入れを行ってきましたが、コロナの影響で受け入れ先が減少していることから、今回初めて中長期の受け入れを行いました。10月12日から12月25日までの期間、男性2名です。1名は40歳で退職した後、次の仕事を求めるなかで、いろいろな経験をしてみたいということの一つの試みで、もう1名は大学4年生で卒業後の就職先は決まっているなかで、ボランティア活動を経験してみたいということからの参加でした。

活動内容は次のとおりです。

月 日	天候	午 前	午 後	夜	参 加 者		
					ワーク キャン プメン バー	地元メ ンバー	計
10月12日	曇小雨	10:40到着	概要説明とフィールド案内		2	2	4



10月13日	曇	大駐車場除草・街灯回り除伐	同左		2	2	4
10月14日	〃	栗園跡地除草	大駐車場除草		2	2	4
10月15日	曇晴	大駐車場整備 ビニールハウス整理	同左		2	3	5
10月16日		休日					
10月17日	雨	ビニールハウス整理 材木運搬	大倉庫整理		2	1	3
10月18日	晴	森の学校参加	大駐車場および風車下への 防草シート敷・広場の除草		2	2	4
10月19日	曇	農作業	好間竹林整備		2	11	13
10月20日	晴	好間竹林整備	同左		2	1	3
10月21日	〃	栗園跡地除草	子供の遊び場歩道作り		2	2	4
10月22日	曇	好間竹林整備	同左		2	1	3
10月23日	曇雨	子供の遊び場歩道作り	大倉庫整理		2	2	4
10月24日		休日					
10月25日		休日					
10月26日	晴	農作業	好間竹林整備		2	11	13
10月27日	〃	スギ苗関係作業	同左		2	1	3
10月28日	〃	栗園跡地整備	同左・大駐車場整備		2	2	4
10月29日	曇小 雨	休日					
10月30日	晴	田人地区農作業	同左		2	1	3
10月31日	〃	〃	同左		2	1	3
11月1日	〃	〃	同左		2	1	3
11月2日	曇小雨	農作業	栗園跡地整備		2	10	12
11月3日	晴	栗園跡地整備	山荘広場除草		2	1	3
11月4日		休日(刈払機取扱研修参加)					0
11月5日	晴	栗園跡地整備	大倉庫整理		2	1	3
11月6日	曇	炭窯窯出し	炭窯窯入れ		2	3	5
11月7日	晴	ドラム缶窯入れ	木小屋整理		2	3	5
11月8日	〃	田んぼ作業(稲こぎ他)	同左		2	1	3
11月9日		休日(チェーンソー取扱研修参加)	同左				
11月10日		〃	同左				
11月11日		〃	同左				
11月12日	晴	落葉プール組立・周辺の除草	山荘北側法面の除伐・除草		2	2	4
11月13日	〃	栗園跡地整備	同上		2	2	4
11月14日		休日					
11月15日	晴	森の学校参加	脱穀作業		1	1	2
11月16日	〃	農作業	子供の遊び場階段作り	地元 メン バー との 交流 会	2	13	15

11月17日	〃	田人プログラム	同左		2	1	3
11月18日	〃	〃	同左		2	1	3
11月19日	〃	〃	同左		2	1	3
11月20日	曇	子供の遊び場階段作り	同左		2	2	4
11月21日	晴	バンガロー周辺の除草	樹木の剪定作業		2	5	7
11月22日		休日					0
11月23日	晴	農作業	山荘北側法面の除伐・除草		2	12	14
11月24日	〃	バンガロー周辺の除草	同上		2	1	3
11月25日	小雨	山荘枯樹場所の下刈り	木工工作体験		2	7	9
11月26日	晴曇	スギ畑作業	山荘北側法面の除伐・除草		2	2	4
11月27日	曇晴	〃	大倉庫整理		2	1	3
11月28日	晴	山荘北側の枯損木除伐	山荘北側法面の除伐・除草		2	4	6
11月29日		休日					
11月30日	晴	農作業	山荘北側法面の除伐・除草		2	12	14
12月1日	曇	山荘北側法面の除伐・除草	同左		2	1	3
12月2日	〃	スギ苗作業	育樹祭準備		2	2	4
12月3日	〃	育樹祭準備	同左		2	1	3
12月4日		休日					
12月5日	小雨	育樹祭準備	同左		2	4	6
12月6日	晴	育樹祭	炭窯周りの整備		2	38	40
12月7日	〃	農作業	育樹祭後の手入れ作業		2	1	3
12月8日	〃	育樹祭後の手入れ作業	同左		2	1	3
12月9日	曇晴	スギ苗作業	同左		2	2	4
12月10日	小雨	〃	同左		2	2	4
12月11日	晴	チップ処理作業	溜池傾面の除伐、除草		2	1	3
12月12日	曇	栗園跡地整備	同左		2	1	3
12月13日		休日					0
12月14日	曇	農作業	子供の遊び場歩道整備		2	11	13
12月15日	晴	子供の遊び場整備	同左		2	2	4
12月16日	〃	栗園跡地クヌギ除伐	炭窯周りの整備		2	3	5
12月17日		休日					
12月18日		〃					
12月19日	晴	枯損木除伐後の処理作業	同左		2	5	7
12月20日	〃	〃	同左		2	1	3
12月21日	〃	農作業	枯損木除伐後の処理作業	全体 の振 り返り	2	17	19
12月22日	〃	海岸林整備	同左		2	5	7
12月23日	〃	伐木処理	同左		2	7	9
12月24日	晴曇	薪割り作業	道具の手入れ		2	1	3
12月25日	晴	清掃・振り返り			2	3	5



(松崎記)

### 【新会員の紹介】

11月に古川行平さんが新たに当会に入会されました。木工班で活躍されています。

### 白菊が赤菊になる

佐藤 烈

仏花といえば、誰もが先ず一番に思いつくのは菊だと思います。

我が家でも仏壇やお墓に供えるために菊を使っています。

昨年、散歩を兼ねてほぼ毎日、父母の眠るお寺に行くことにしたので、いやでも花立てに挿してある花を眺めることになりました。

夏のある日、いつものようにお墓に手を合わせ、蒸散して少なくなった花立ての水を交換し、少ししおれた菊を再び花立てに挿したとき、白い花びらの先が赤くなっているのに気づきました。翌日見てみるとその赤い色は広がっています。

なぜなのか、一緒に挿している黄色の菊でも同じように赤くなります。また、自宅の仏壇の菊も同じ現象がみられることに気づきました。

その現象をどう解釈していいのかわからないまま秋も深まったある日、妻を伴いお寺に行き、墓に供えられた白菊の花の先端を指してなぜなんだろうとつぶやいたところ、秋には葉が紅葉するよね、それと同じじゃないのと妻が言いました。

その赤くなった花びらを紙にこすりつけ、赤く色づいたところに重曹水溶液を垂らすと青に変化しました。それでこの色素は水溶性で、かつアルカリ性では青くなることがわかりました。アントシアニンと考えても間違いではなさそうです。





そういえば紅葉の原因の赤い色素アントシアニンは、植物が光合成で作った糖を基に作られるといわれています。葉の中で光合成によって作られた糖は、落葉直前にもう枝や幹、根に送る必要がないので葉柄の付け根に離層ができ、行き場を失いアントシアニンに変化するのわかります。しかし、花びらには葉緑素がない。ではそのもとはどこにあるのでしょうか。葉と茎は緑色をしています。

それから次の疑問も出てきます。糖はいつ作られたものかという疑問です。切り花になっても光合成をして糖を作るのか、切り花になる前に作られたものなのか。

また別の疑問が出てきました。落葉する葉のように離層がなく、師管、導管はふさがれてないのに水溶性の糖がなぜ花立て水に落ちずに茎に残っているのでしょうか。

花びらの先端が赤くなった菊の茎や葉をよく見ると緑色の一部が段々に赤くなっていることにも気がつきました。どうもここにできたアントシアニンが花びらに運ばれたようです。花立ての水は赤くなってはいません。

イチョウやイタヤカエデの黄葉と桜やイロハカエデの紅葉の違いは、糖が葉に残る残らないなのか、アントシアニンに変化させる生化学反応のメカニズムが有るか無いかなのかわかりません。わからないから面白い。

最後に「切り花って生きてるの」、切られても水を吸い上げるし、もしかしたら光合成をしてるかもしれない、糖をアントシアニンへ変えている。

とにかく自然はおもしろい。わからないことが「たくさんある」ことがわかってワクワクします。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>